

平成 28 年度 後期日程

「小論文（工学部電気電子工学科）」出題の意図

電気や電子は直接見たり触ったりできないことから、電気電子現象を理解しようとする場合、客観的かつ論理的な思考が極めて重要になる。本小論文は、飛行中の国際宇宙ステーションとジェット旅客機を例にとり、問題文に含まれる情報を基に引力、遠心力、揚力が作用する物理現象の全体像を客観的に把握した上で、無重量状態という非日常で生ずる物理現象を説明する問題である。問 1 は、国際宇宙ステーションとジェット旅客機に生じる個々の事象の理解だけではなく、それらの関係性を論理的に説明できているかどうかを、問 2、問 3 は、これまでに身に付けた物理知識を豊かな発想の下、適切に応用できるかどうかを問う設問である。これらの設問を通し、自然現象の理解力、発想の豊かさ、論理的思考力、論理的表現力を評価することで工学部電気電子工学科の学習に対する資質を見ることを意図した。